

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業一覧(令和2年度実施計画掲載事業分)

単位:円

補助 単 独	交付対象事 業の名称	担当課	①目的・効果	②交付金を充当する経費内容	③事業実績(アウトプット)	④事業効果・検証結果 (アウトカムまたは検証結果)	町民向け 支援	経済対策との関係	総事業費	交付金 充当額	その他 国・道補助	その他 財源	一般財源
1	単 生活応援商 品券事業	商工観光課	新型コロナウイルス感染症による影響により、商工業及び観光業の業績が厳しい状況にあることから、町内事業者に対する支援事業を実施するとともに、地域における消費の喚起及び下支えをするもの。	商工共栄会発行の商品券の割増分(40%)を町で補助(5,000円購入につき割増2,000円分、2セット上限) ※鹿追町商工会へ補助	購入世帯 1,433世帯 (全世帯2,474世帯のうち57.9%) 販売セット数 2,835セット	かつてないプレミアム率であったが、購入したのは2,474世帯のうち1,433世帯(全世帯の57.9%)で想定を下回る結果となった。飲食店専用の商品券が1セットにつき2,000円分付いていたため、「町内飲食店は利用したことがない。(利用しない)」と言って購入をやめる町民がいたと商工会から聞いており、購入率の低下の一因になったと考える。 しかし、販売セット数は2,835セットで、購入した世帯のうちほぼ全員が上限である2セットを購入していることから、購入者にとっては需要があったと考えられ、町民の生活応援に一定の効果があったと考察する。 また、これまでのような商品券の事前申し込みは行わず、全世帯に購入引換券を配布する形をとったことで素早い経済対策が図られ、観光協会の発行した持ち帰り専用クーポンとの相乗効果により、大型連休中の飲食店の売り上げ(収入)増につながった。	●	Ⅲ-2. 地域経済の活性化	5,608,487	5,600,000		8,487	
2	単 観光誘客促 進事業	商工観光課	新型コロナウイルス感染症の影響により落ち込んだ旅行需要の早期回復を図るため、町内における宿泊施設及びアウトドア体験施設等に対し、支援金を交付するもの。	北海道が実施する「どうみん割」の対象となっていない町内の宿泊商品及びアウトドア体験商品の割引額を支援するもの。また、割引額への支援など各種誘客促進を行うもの。 ※鹿追町観光協会へ補助	10事業者(体験7事業者・宿泊3事業者) 1,572,000円 利用人数 延べ927名(体験651人・宿泊276人)	コロナ禍において北海道民の誘客を目的とする「どうみん割」の補充事業である当該事業については感染症対策から他人の受入れや回転率を上げることが困難な状況下において利用人数は伸び悩んだものの、一定の誘客を図ることができ、かつ、宿泊・体験事業者の経営継続の一助にもなった有効な事業であった。	●	Ⅲ-1. 観光・運輸業、飲食業、イベント・エンターテインメント事業等に対する支援	1,572,000	1,400,000		172,000	
3	単 家族団らん クーポン券発 行事業	商工観光課	新型コロナウイルス感染症による影響により、商工業及び観光業の業績が厳しい状況にあることから、町内事業者に対する支援事業を実施するとともに、地域における消費の喚起及び下支えをするもの。	町内事業者において持ち帰り3,000円以上のオードブル等を注文した際に使用できる500円割引クーポン券を町民へ発行する。	28事業者 300,760円 利用世帯数 576世帯	コロナ禍において外出自粛により来店飲食に制限があるものの、大型連休中に家族・親戚で集まる機会が多いことから、当該事業においてテイクアウト商品への購入支援により、各世帯等の衛生・消費に与える影響を緩和し、また、飲食店等地域における消費を喚起・下支えすることができた。	●	Ⅲ-1. 観光・運輸業、飲食業、イベント・エンターテインメント事業等に対する支援	300,760	300,000		760	
4	単 鹿追町中小 企業等持続 化支援事業	商工観光課	新型コロナウイルス感染症の拡大により、大きな影響を受けている事業者が経営継続に不安を抱いていることから、事業継続の下支え、再起の糧としていくため、事業全般に広く使用できる持続化支援金制度を創設し、これを主要事業としたものに加えて、道の従業員を受けて休業等に取り組んだ事業者に対して支援金を上乗せ交付するもの。	(1)中小企業持続化支援金 対象期間内の連続3か月の売上高が前年同期比で減少した中小企業に対し支援金を交付 (2)休業協力等支援金 北海道の休業要請等に取り組んだ事業者に対して上乗せ交付を行う	(1)中小企業持続化支援金 ・10%未満:前年同期比の売上高月平均額 12事業者 2,598千円 10-20%減少:100千円×7事業者=700千円 20-40%減少:200千円×25事業者=5,000千円 40-60%減少:350千円×18事業者=6,300千円 60%以上減少:500千円×15事業者=7,500千円 10,000千円を超える場合:1,000千円×9事業者=9,000千円 (2)休業協力等支援金 1事業者100千円×30事業者=3,000千円	(1)売上減少率による算定で、コロナによる損失分を補填し、またより多くの町内事業者へ支援金を交付することができた。コロナによる経営影響の改善と事業継続への一助となる有効な事業であった。 (2)北海道の緊急事態措置により休業要請を受けてコロナ感染症拡大防止予防のため休業等に取り組む、町内の感染拡大を図ることができた。	●	Ⅱ-3. 事業継続に困っている中小・小規模事業者等への支援	34,398,000	33,500,000		898,000	
5	単 鹿追町中小 企業事業資 金特別利子 等補助事業	商工観光課	新型コロナウイルス感染症の影響を受ける町内中小企業者に対して、円滑な資金繰りを支援するため、中小企業者が事業資金を金融機関から借入れることによる生じる利子及び保証料に対し、特別利子補助金を交付するもの。	特別利子補助金の交付	制度利用者 39名 利子補助金総額(予定) 26,774,087円 うちR2年度分 6,793,723円 ※うち交付金充当 6,793,723円 R3~R7年度分(予定) 14,331,919円 ※うち交付金充当 11,888,000円(基金積立)	安定した事業継続のためにも、円滑な資金繰りがもたらされる中で、利子補助金を行うことで町内事業者の事業継続を下支えとなる有効な事業であった。	●	Ⅱ-2. 資金繰り対策	18,681,723	18,588,000		93,723	
6	単 防災備蓄品 購入事業①	総務課	新型コロナウイルス感染症対策として、コロナ禍における避難所の衛生環境を確保するための必要な整備を行う。	避難所の衛生環境等を保つため、マスク・消毒薬ほか備蓄用品等の資材を購入する。	防災用備蓄マスク 19,000枚	避難所にマスクを備蓄することで、将来的に避難所が必要になった時の感染防止と衛生環境保持に繋がった。	●	I-1. マスク・消毒液等の確保	992,800	990,000		2,800	
7	単 学校衛生環 境整備事業	総務課	新型コロナウイルス感染症対策として、コロナ禍における学校教育機関の衛生環境を確保するための必要な整備を行う。	コロナ禍において、少しでも安心安全に子どもたちが通学することで学習機会を保障するために、児童生徒及び教職員に対する衛生用品(マスク等)の購入及び配付を行う。	・小学校児童 308名×50枚=15,400枚 ・中学校生徒 175名×50枚=8,750枚 ・高等学校生徒 140名×50枚=7,000枚 ・教職員(小中高) 145名×50枚=7,250枚 ・認定こども園 10箱×50枚=500枚 ・地域保育所 12箱×50枚=600枚 計 39,500枚	マスクが不足していた感染症拡大初期に子どもたちや教職員に配布できたことで、子どもたちが安心安全に通学・学習できる環境を整えることができ、感染防止に非常に効果的であったと考える。	●	I-1. マスク・消毒液等の確保	2,183,720	2,000,000		183,720	
8	単 医療・福祉施 設衛生環境 整備事業	総務課	新型コロナウイルス感染症対策として、コロナ禍における医療・福祉施設等の衛生環境を確保するための必要な整備を行う。	医療・福祉施設等の機関にマスク等の衛生用品を購入	・介護老人保健施設もみじの里 2,000枚 ・特別養護老人ホームしゃくげ荘 2,000枚 ・宮澤内科医院 1,000枚 ・東町歯科医院 1,000枚 ・どうも調剤薬局 1,000枚 ・かしのもり 1,000枚 ・もみじ工房 1,000枚 ・鹿追町社会福祉協議会 1,000枚 計 10,000枚	町内の医療・福祉施設等にマスクを配布することで、医療・福祉従事者の感染防止の一助となり、入所者や患者が安心安全に入所・診療ができる環境が作られ、非常に効果的であったと考える。	●	I-1. マスク・消毒液等の確保	495,000	400,000		95,000	
9	単 子育て世帯 牛乳消費拡 大事業	学校教育課	新型コロナウイルスの影響で臨時休校が継続し消費が低迷する牛乳の消費拡大のために、給食での提供の代替として子育て世帯に牛乳券の配布を行うことで、給食費無償化を実施している本町の子育て世帯の負担軽減及び本町の基幹産業である農業の支援を行うもの。	臨時休校が継続し消費が低迷する牛乳の消費拡大のために、給食での提供の代替として子育て世帯に牛乳券の配布を行うことで、給食費無償化を実施している本町の子育て世帯の負担軽減及び本町の基幹産業である農業の支援を行うもの。	10枚(児童・生徒2名まで)×270世帯=621,000円 20枚(児童・生徒4名まで)×27世帯=124,200円 30枚(児童・生徒5名まで)×2世帯=13,800円 50枚(留守センター)×1(世帯)=11,500円 ほか牛乳券印刷代38,500円	計300世帯に3,350枚相当分の牛乳券を配布し、3,085分(92%)の引き換えがあった。小中学校の臨時休業間において食育の一環として各家庭の栄養補助の一助になるとともに、本町の基幹産業である牛乳余剰の影響の抑制にもなったと考えられる。	●	Ⅲ-2. 地域経済の活性化	748,050	700,000		48,050	
10	単 プレミアム付 商品券発行 補助事業	商工観光課	新型コロナウイルス感染症による影響により、商工業及び観光業の業績が厳しい状況にあることから、町内事業者に対する支援事業を実施するとともに、地域における消費の喚起及び下支えをするもの。	商工共栄会発行の商品券を割増分(40%)を町で補助(うち10%は北海道補助) (10,000円購入につき割増4,000円分) ※鹿追町商工会へ補助	購入世帯 1,480世帯 (うち町外者 103世帯) 販売セット数 6,200セット (うち町外者 200セット) 換金枚数 500円×172,804枚(換金率 99.54%)	商品券発行により町民のくらしを支援するとともに、商品券の利用により町内経済の景気回復が図られた。特に、町外者への販売を行ったことで、町外者による鹿追町内での消費活動が促進された。	●	Ⅲ-2. 地域経済の活性化	25,285,915	19,000,000	6,171,571	114,344	
11	単 議会用中継カ メラ購入事業	議会事務局	行政のオンライン化を進め、感染症に強い社会生活基盤の構築を図る。	町議会をオンライン中継するための機器の整備	議会用中継映像機器一式 1,276,000円 (カメラ2組、カメラ駆動ユニット1台、4分割ユニット1台、HDMI2分配器1台、同軸延長送信機1組、液晶ディスプレイ1台、HDMI4分配器1台、HDMIエクステンダー1組、視聴用モニター1台、HDMIケーブル7本)	導入後、YouTube Liveへ配信する画質及び音質が向上し、視聴者が視聴しやすくなった。 令和2年第2回定例会以降、定例会・臨時会・予算・決算審査特別委員会の中継及び動画を安定して配信できた。		IV-3. リモート化等によるデジタル・トランスフォーメーションの加速	1,276,000	1,200,000		76,000	

補助 単 独	交付対象事 業の名称	担当課	①目的・効果	②交付金を充当する経費内容	③事業実績（アウトプット）	④事業効果・検証結果 （アウトカムまたは検証結果）	町民向け 支援	経済対策との関係	総事業費	交付金 充当額	その他 国・道補助	その他 財源	一般財源
12	単 防災備蓄品 購入事業②	町民課	避難所の衛生環境等を保つため、マスク・消毒薬ほか備蓄用品等の資材を購入するほか、防災行政無線や震度情報ネットワークシステム、全国瞬時警報システム（J-ALERT）などの防災機器などの保全を図るため、放送室にエアコンを整備する。 また、感染者への対応、PCR検査の結果待ちの方に対する隔離等の際への備えとして、備蓄食・簡易寝具等の備えを併せて行う。	避難所の衛生環境等を保つため、マスク・消毒薬ほか備蓄用品等の資材を購入、エアコン整備を行う。	・アルコール消毒液 500ml×20ケ、5ℓ×5ケ、10ℓ×1ケ、17ℓ×2ケ、ディスペンサー10ケ ・非接触型体温計 15ケ ・電子体温計 5ケ ・ウェットシート 20ケ ・手袋 20セット ・感染対策セット（防護服ほか） Mサイズ20セット、Lサイズ20セット、LLサイズ10セット ・シューズカバー 2セット ・避難所用間仕切り 100セット ・フェイスシールド（200枚/箱） 2セット ・飛沫防止パーテーション 25セット ・育児用液体ミルク 2個 ・防災備蓄食 300ケ ・非常用圧縮毛布（10枚入り） 4セット ・段ボールベッド 30セット ・不織布マスク 2,000枚 ・行舎防災無線室エアコン 1台	幸いにも大きな災害がなかつたが、学校の防災教室などで備蓄品の紹介をとおし防災意識の高揚に努めることができた。 また、放送室のエアコン設置については、夏場の高温から各種機器を保護することができ、安定的な情報提供をしている。		I-1. マスク・消毒薬等の確保	3,134,615	3,100,000		34,615	
13	単 防災備蓄品 購入事業③	総務課	新型コロナウイルス感染症対策として、コロナ禍における避難所の衛生環境を保つための必要な整備を行う。	避難所の衛生環境等を保つため、備蓄用品を購入する。	ミネラルウォーター 500ml 8,016本			I-1. マスク・消毒液等の確保	1,115,902	1,000,000		115,902	
14	単 公共施設事務 所内飛沫防 止事業	総務課	公共施設内の事務所において飛沫防止対策を行うことで、事業継続性を保つとともに、利用者の感染防止を図るもの	飛沫防止対策としてアクリルスタンドパーテーションを設置する。	対面職員間アクリルスタンドパーテーション設置 61ケ	公共施設にアクリルスタンドパーテーションを設置することで、感染の大きな要因である飛沫防止による感染防止が図られ、一定の効果があつたと考える。		I-1. マスク・消毒液等の確保	570,350	550,000		20,350	
15	単 消防・救急作 業用防疫用 品整備事業	消防署	新型コロナウイルス感染症対策において、消防団職員が、消毒活動をする際の備品等の整備を行うもの	消防団活動備品の整備	・消毒作業用噴霧器 @70,400円×3分団=211,200円 ・感染防護衣一式 @3,289円×20個×3分団=197,340円 ・ジェットヒーター @127,600円×3分団=382,800円 ・冬季感染防止衣 @65,450円×隊員19名=1,243,550円 ・NWストレッチャー @2,995円×18枚=53,915円	消防団職員の現場活動や消毒、訓練・警戒・式典等での感染予防対策に使用。 傷病者対応及び活動後の広範囲消毒、また寒冷時においても換気を徹底しながら活動できるよう採暖に利用することで、効果的に活用できた。		I-3. 医療提供体制の強化	2,088,805	1,800,000		288,805	
16	単 妊婦感染防 止対策事業	保健福祉課	新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、不安を抱える妊婦への支援策の一環としてマスク・消毒液の配布を行うもの	妊婦へのマスク・消毒液の配布	・不織布マスク（50枚入り）×45セット ・アルコール除菌ハンドジェル×45セット	配付人数37名 当時品薄であつた不織布マスクや消毒液を配布し、感染リスクの高い妊産婦のコロナ等感染予防が図られ、不安の解消につながつた。	●	I-1. マスク・消毒液等の確保	102,300	100,000		2,300	
17	単 歯科検診診 断防止対策 事業	保健福祉課	新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、母子歯科保健事業等の歯科検診実施における感染症対策を行うもの	乳幼児歯科検診のコロナ対策に係る消耗品費用	・使い捨て防水シート @2,024円×6=12,144円 ・デスポボン鏡 @1,012円×10=10,120円 ・タフト歯ブラシ @3,080円×11=33,880円 ・デスポンサイズミラー @3,850円×3=11,550円 ・ニトリル手袋 @1,650円×1=1,650円 ・ポケットコールド @1,248円×1=1,248円 ・歯ブラシ @40円×20本=800円	乳幼児歯科検診実施回数24回、延べ188名 乳幼児検診時のコロナ対策用衛生用品を整備し、安心して受診することができた。	●	I-1. マスク・消毒液等の確保	71,392	70,000		1,392	
18	単 商工業者新 型コロナウイ ルス感染症 対策環境整 備事業	商工観光課	新型コロナウイルス感染症により影響を受けている商工業者に対して、安心して買ひ物等ができる環境を整え事業継続を図れるよう、各事業者が実施する感染予防対策の取組に関する経費に対して支援するもの	町内事業所における非接触型体温計及びアルコール消毒液の設置 ※鹿追町商工会へ補助	・非接触型体温計の設置 175事業所=2,502,500円 ・アルコール消毒液の設置 5本×175事業所=2,213,750円	鹿追町商工会が主体となり町内事業者に対して行った本事業は、新型コロナウイルス感染症対策を図るとともに、感染リスク低減に向けた「新北海道スタイル」の意識向上に大いに繋がつた。 特に、当時入手の難しかった「非接触型体温計」及び「アルコール消毒液」の確保に努め、店舗利用者や従業員の安心安全な環境の確保につながり、感染対策の徹底で「新北海道スタイル」の定着が図られた。	●	I-1. マスク・消毒液等の確保	4,716,250	3,300,000	1,000,000	416,250	
19	単 美術館感染 防止対策事 業	社会教育課	町立美術館において、コロナ禍においても3密を回避して継続して開館ができるよう感染防止対策、ロビーでの映像紹介等で3密回避を図るもの	神田日勝記念美術館のコロナ対策及びコロナ禍における運営対策経費	・受付飛沫防止対策アクリルシート購入費 伸縮ポール @1,628円×5本=8,140円 シート @946円×6=5,676円 ・受付用オーディオカーテン整備 330,000円 ・除湿器整備（浮遊ウイルス抑制）@110,440円×2=220,880円 ・映像制作委託業務 2,662,000円 ・ロビー用テレビ他 495,000円	館内窓口への飛沫防止シートの設置およびロビー内の除湿器配備によって、飛沫防止対策と換気を強化でき、利用者および職員の安心安全を確保できた。 ロビー映像の上映は、従来の職員による施設案内や作品解説サービスの代替となり、展示室入場制限時の待機者にとっても待ち時間の活用になることから、利用者満足度の維持に貢献する結果となつた。		Ⅲ-1. 観光・運輸業、飲食業、イベント・エンターテインメント事業等に対する支援	3,721,696	2,300,000	1,300,000	121,696	
20	単 飲食デリバ リー事業助 成	商工観光課	新型コロナウイルス感染症による飲食事業者への影響が懸念されているため、飲食事業者の売り上げ回復とともにハイヤーの需要回復を図るためハイヤー事業者による有償貨物運送の特例措置を活用した飲食デリバリー事業に対して助成を行うもの	対象地区によって2,000円～4,000円をハイヤー事業者がデリバリー事業に利用した飲食店に助成し、業者が減少する飲食店のテイクアウトに係る配達経費を支援するもの。	支援額 8事業者 85,250円 利用人数 延べ235名	外食に出られない方や、中心街から遠方で普段利用することができない方などの利用実績により、新たな消費者層の開拓に繋がりました。 また、事業終了後も短期間ではあつたが各店舗で実験的に事業実施するなど、商店街の活性化が図られた。	●	Ⅲ-1. 観光・運輸業、飲食業、イベント・エンターテインメント事業等に対する支援	85,250	80,000		5,250	
21	単 商工会生活 応援セール 事業助成金	商工観光課	町内での購買意欲を高め、売り出し加盟店が総力を挙げて地域経済の活性化につながる事業を実施することで、新型コロナウイルスにより影響を受けた商工業者の支援を図るもの	商工会生活・応援セール事業助成金 ※鹿追町商工会へ補助	鹿追町商工会補助金 1,500,000円	生活・応援大売出し事業により町民の暮らしを支援するとともに、町民の購買意欲を高めることにより地域活性化が図られた。		Ⅲ-1. 観光・運輸業、飲食業、イベント・エンターテインメント事業等に対する支援	1,500,000	1,300,000		200,000	
22	単 観光誘客促 進町民割引 事業	商工観光課	町内宿泊施設の利用に対する積極的な誘客により、地域における観光事業を下支えるために実施するもの	町民限定の宿泊プランを設定し、対象事業者が販売する商品合計額から鹿追町観光協会において設定した購入・利用者負担合計額を控除した差額分を対象事業者へ支援する。 また、宿泊プランを購入した際に併せて対象事業者が提供する交通サービス額から鹿追町観光協会が設定した購入・利用者負担合計額を控除した差額分を対象事業者へ支援する。 ※鹿追町観光協会へ補助	4事業者（宿泊2事業者・交通2事業者） 2,939,922円 利用人数 延べ414名（宿泊369人・日帰り23人、交通22人）	コロナ禍において「安（安心して）、安（安い）、近（近場で）、短（短く）」と言われる旅行形態へとニーズが変化しており、町民が安心して町内旅行を楽しむ、町内の温泉旅館を再認識してもらうことを目的とする当該事業については、首都圏での緊急事態宣言や札幌市との往来自費要請など感染拡大対策の報道が連日行われ、外出控えの意識もあつたことから団体利用を中心に利用人数は伸び悩んだものの、複数回の利用も含め一定数の利用があつたこと、かつ、宿泊事業者の経営継続の一助にもなつたことから有効な事業であつた。	●	Ⅲ-1. 観光・運輸業、飲食業、イベント・エンターテインメント事業等に対する支援	2,939,922	2,000,000		939,922	
23	単 観光協会情 報発信媒体 整備事業	商工観光課	新たなイメージのホームページ及びパンフレットを制作することにより、鹿追町の観光イメージのさらなる向上を図り、誘客促進につなげることで、地域における観光事業を下支えるもの	ホームページ制作およびパンフレット制作 ※鹿追町観光協会へ補助	ホームページ制作委託料 2,970,000円 パンフレット制作 30,000部 1,705,000円	観光協会の新たな観光戦略に基づきホームページの改題及びパンフレットの刷新であり、コロナ禍において終後の誘客に結び付けるための準備として有効な事業であつた。	●	Ⅲ-1. 観光・運輸業、飲食業、イベント・エンターテインメント事業等に対する支援	4,675,000	4,500,000		175,000	

補助単独	交付対象事業の名称	担当課	①目的・効果	②交付金を充当する経費内容	③事業実績（アウトプット）	④事業効果・検証結果（アウトカムまたは検証結果）	町民向け支援	経済対策との関係	総事業費	交付金充当額	その他国・道補助	その他財源	一般財源
24	単 簡易水道・下水道特別会計減免料金繰出事業	建設水道課	新型コロナウイルス感染症の拡大により大きな影響を受け経営継続に不安を抱いている事業者へ、事業の継続を支えるために水道使用料・下水道使用料を減免するもの	鹿追町簡易水道特別会計及び鹿追町下水道特別会計に繰り出し、鹿追町中小企業持続化支援金の対象者で以下の区分に該当する者に対して最大4か月間全額減免に要する費用を交付対象経費とする。 対象期間内の連続3か月の売上高が前年同期比で60%以上または10,000千円以上減少した中小企業	上水道 14件 929,426円 下水道 15件 1,378,331円 計 2,307,757円	コロナウイルス感染症の拡大による大きな影響を受け、経営の継続に不安を抱いていた事業者の使用料金を減免したことにより、経営の下支えに貢献することができた。	●	Ⅲ-1. 観光・運輸業、飲食業、イベント・エンターテインメント事業等に対する支援	2,307,757	2,300,000			7,757
25	単 鹿追北8線改良工事	建設水道課	新型コロナウイルス感染症の感染拡大を受けて、飲食業・旅行業などを中心に経済が大きな打撃を受ける中、そのような業種に直接的に関係のある一次産業も、農畜産物の需給バランスの大きな変化による価格下落などの影響が生じており、今後の状況次第では、さらに大きな打撃を受ける可能性も否定できない状況である。 本町の基幹産業は農業であり、本町の経済基盤を支えるために、先行きが見えないコロナ禍においても持続可能な経営ができる強い農業基盤づくりを実施・支援していかなければならない。 そのような状況下において、コロナ禍の状況を見据え、今後の持続的な経営を目指して後継者の農家が共同経営し法人化するにあたり、農業施設の規模拡大に必要不可欠である周辺未整備町道の整備を行うことにより、コロナ禍及び今後においても持続可能な農業基盤の整備を支援するものである	農業施設の規模拡大に必要不可欠である周辺未整備町道の整備	町道改良工事 L=291m	農業施設の規模拡大に必要不可欠である周辺未整備町道の整備を行うことにより、コロナ禍及び今後においても持続可能な農業基盤の整備を支援することができた。		Ⅲ-2. 地域経済の活性化	24,519,000	23,500,000			1,019,000
26	単 ひとり親等世帯生活支援給付金事業	保健福祉課	新型コロナウイルス感染症の影響を受けているひとり親等世帯に対し、鹿追町商工会が発行する商品券を交付することで生活の安定を図り、もって福祉の向上を図るもの	ひとり親等世帯への商品券の交付	@50,000円×64世帯=3,200,000円	コロナ禍により影響を受けて家計が急変し収入が減少したひとり親世帯に対して、生活支援を図るうえで商品券の交付をした結果、64名のひとり親世帯に対して一定程度の支援と生活の安定に効果的であった。	●	Ⅱ-4. 生活に困っている世帯や個人への支援	3,211,370	3,000,000			211,370
27	単 赤ちゃん特別支援金	保健福祉課	新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ、新生児に対し「しかお赤ちゃん特別支援金」を支給し、生活の安定と健やかな成長を支援するもの	令和2年4月28日から令和3年3月31日までに生まれ、出生により町内に住民登録をした新生児に対し、新生児1人あたり10万円を支給するもの	@100,000円×20名=2,000,000円	新型コロナウイルス感染症の影響等が長期化する中、鹿追町独自の支援策として実施。生活に不安を抱える妊産婦とその家族への支援により、お子さんの健やかな成長を応援することができ有効な事業であった。	●	Ⅱ-4. 生活に困っている世帯や個人への支援	2,000,000	1,800,000			200,000
28	単 大学生等応援給付金事業	学校教育課	新型コロナウイルス感染症拡大に伴ってアルバイトの減少などで生活費が減少したことへの対策として、鹿追町出身大学生及び保護者への経済的支援を行うもの	対象要件 ・学校基本法に基づいて設置された学校に通う学生 ・平成28年4月2日以降に生まれた者 ・令和2年8月1日現在で鹿追町に住民票がある学生・保護者	@50,000円×124名=6,200,000円	感染拡大初期において、運やかな経済支援によって安定した修学の支援をすることができたことは、学生や保護者の不安解消において非常に効果が高かった。	●	Ⅱ-4. 生活に困っている世帯や個人への支援	6,200,000	6,000,000			200,000
29	単 高齢者タクシー利用助成事業	企画課	新型コロナウイルス感染症拡大に伴って外出機会が激減した高齢者等の活動機会の増大とそこによる冷え込んだ地域経済の活性化、通院控えによる健康状態の悪化の抑制、さらには利用者が激減したタクシー事業者への支援のため実施するもの	70歳以上の高齢者等へのタクシー利用券の助成	利用者数 283名 利用枚数 500円×8,199枚=4,099,500円	広く町民の感染対策及び町民の生活支援を図るうえで、283名の利用があったことから高齢者への支援として効果的であったと考える。 また、コロナ禍において利用者が激減したタクシー事業者への支援としても4,099,500円の利用があったことから効果的であった。	●	Ⅲ-2. 地域経済の活性化	4,211,206	3,000,000			1,211,206
30	単 オンライン学習環境整備事業（鹿追高校寄宿舎）	学校教育課	高校の学習においてオンライン学習の機会が増加していることから、町が設置する高校男子寮におけるオンライン環境の整備を行うもの	鹿追高校寄宿舎へのWi-Fi環境の整備	Wi-Fi整備箇所 1か所（鹿追高校寄宿舎）	全国一斉の臨時休業や、感染拡大時の臨時休業に遅滞なく対応することができている。その後収束することなく続いた感染拡大時にも、生徒の学習機会を失うことなく学びを続けることができたことの効果は非常に高い。		Ⅰ-8. 学校の臨時休業等を円滑に進めるための環境整備	153,679	100,000			53,679
31	単 公共施設ICT環境整備事業	社会教育課 子育て支援課 保健福祉課 総務課	公共施設におけるインターネット環境を整備することで町内の全体的なオンライン環境の整備を図るとともに、防災指定避難所のオンライン化を図ることで防災に強いまちづくりに資するもの	公共施設のオンライン化整備	・鹿追町民ホールWi-Fi整備 ・認定こども園ICT環境整備 （光回線整備、パソコン・ディスプレイ・ヘッドセット、コミュニケーションスピーカーフォン） ・トリムセンターICT環境整備 （光回線整備、Wi-Fi整備、液晶ディスプレイ、Webカメラ） ・役場庁舎ICT環境整備 （LGWAN無線アクセスポイント増設）	【社会教育課】 町民ホール内の会議室やホール内にWi-Fi整備を行った事により、オンラインでの会議や講座・講演が可能となり、利用者の利便性向上が図られたことから効果的であった。 【子育て支援課】 本事業により、オンライン会議及び研修受講の態勢が整い、業務の円滑化が図られた。 また、WiFi環境が整ったことにより公共施設としての利便性が飛躍的に向上した。 【保健福祉課】 トリムセンター内にWi-Fi整備を行ったことにより、コロナ禍においてもオンラインでの会議や講座・講演が可能となり、利用者・職員の利便性向上が図られたことから効果的であった。 【総務課】 役場庁舎全体にLGWANの無線アクセスポイントを設置することで、庁舎内どこでもタブレット等でLGWANの無線接続ができるようになり、職員の業務の効率化に繋がりが効果的であった。		Ⅳ-3. リモート化等によるデジタル・トランスフォーメーションの加速	1,704,890	714,000	664,000		326,890
32	単 観光施設ICT環境整備事業	総務課	町内の主要観光施設のインターネット環境を整備することで町内の全体的なオンライン環境の整備を図るとともに、観光の誘客促進を図るもの	然別湖公衆無線LANアクセスポイント整備	公衆無線LANアクセスポイント整備箇所 1か所（然別湖畔）	以前から課題となっていた然別湖周辺のインターネット環境を整備することで、観光客・従業員らの利便性が向上し、然別湖をはじめ町全体の観光客誘致促進にも一定の効果があったと考える。		Ⅲ-1. 観光・運輸業、飲食業、イベント・エンターテインメント事業等に対する支援	1,045,000	900,000			145,000
33	単 GIGAスクール構想整備事業	学校教育課	文部科学省が推進するGIGAスクール構想に基づき、町内小中学校にタブレットを整備するもの。なお、国庫補助金を上回る経費について地方単独事業として計上するもの。	町内小中学校タブレット整備	・Appleタブレット iPad 484台 ・キーボード 484台 ・MDMクラウド 484台分 ・Appleペンシル 185本 ・スタイラスペン 299本 ・MDMJamf Pro iOS導入サービス 1式 ・Apple TV HD 14台 文科省公立学校情報機器整備費補助金 13,924,000円 ふるさと納税繰入 15,000,000円	GIGAスクール構想と同時期となった新型コロナウイルスの感染拡大において、スムーズな整備と運用でオンライン授業をはじめとした、さまざまな学習を可能にした。学びを止めることなく、児童や生徒の学習機会を保障することができたことは、非常に効果が高い。		Ⅰ-8. 学校の臨時休業等を円滑に進めるための環境整備	31,010,485	1,500,000	13,924,000	15,000,000	586,485
34	単 オンライン学習環境整備事業（鹿追高校）	学校教育課	鹿追高校の魅力化推進のための支援策の一環として導入した情報通信機器端末が、新型コロナウイルス感染防止のための臨時休校時のオンライン授業実施において、非常に有用な効果を示したため、全体师生への配備を行って感染拡大時への支援を行う。	鹿追高校へのiPad整備ほかオンライン学習環境整備	・Appleタブレット iPad 140台 ・キーボード 140台 ・Appleペンシル 140台 ・MDM 180台分 ・wifi中継器 3機 ・設定費 180台分 ・タブレット保管庫 3台	町内の小中学校とともに、すべての生徒に配備された情報端末機器により、学習機会の保障とともに生徒が安心して学ぶ機会を作り出したことは、非常に高い効果を生み出している。		Ⅰ-8. 学校の臨時休業等を円滑に進めるための環境整備	13,358,400	13,000,000			358,400

補助単独No.	交付対象事業の名称	担当課	①目的・効果	②交付金を充当する経費内容	③事業実績（アウトプット）	④事業効果・検証結果（アウトカムまたは検証結果）	町民向け支援	経済対策との関係	総事業費	交付金充当額	その他国・道補助	その他財源	一般財源
35	季節性インフルエンザ予防接種助成事業	保健福祉課	新型コロナウイルス感染症拡大の中で、重症リスクの高い65歳以上の高齢者や乳幼児、また、感染拡大による学校休業を未然に防ぐため学齢期の子どもに対して季節性インフルエンザの予防接種費用の助成を行うもの	季節性インフルエンザ予防接種助成費用	助成者 1,975名	重症化リスクの高い65歳以上の高齢者や乳幼児、また、感染拡大による学校休業を未然に防ぐため学齢期の子どもに対して予防接種を付ける後押しとなり効果的な事業であったと考える。	●	I-1. マスク・消毒液等の確保	5,233,886	4,700,000			533,886
36	高校通学バス支援金	学校教育課	臨時休校による影響を受けた鹿追高校通学バスの運行事業者に対する支援と、長期休校中の通学バスの運行回数が増えることに対する保護者支援を兼ねて、運行主体である鹿追町学校協会の支援を行うもの	鹿追町学校協会補助金 ※鹿追町学校協会へ補助	4月減便分支援 282,568円 5月減便分支援 177,700円	感染拡大初期において、バスの運行事業者への支援を迅速に行なったことで、その後の運行事業継続への不安解消と事業継続に効果的な支援となった。臨時休業の擁護となった長期期間の登校にも支援することで保護者の不安を解消し、同時に安定的な修学環境を作ることができた。		I-8. 学校の臨時休業等を円滑に進めるための環境整備	459,568	450,000			9,568
37	公共施設感染予防対策事業	総務課	町内各種公共施設において、新型コロナウイルス感染症拡大のために必要な対策、施設整備、施設・設備改修を講じるもの	感染拡大対策に係る消耗品、備品、施設改修経費	【消耗品】 ・感染防止用透明クロス 1ヶ ・フィルム窓付きパーテーション 8ヶ ・ゴム手袋 1,500枚 ・ペーパータオル 45箱、630ヶ ・ハンドソープ 1ヶ ・消毒用エタノール 170×20ヶ ・ハンドタオルペーパー 8箱 ・サクションタック 100枚 ・カセットコンロ 2ヶ ・カセットボンベ(5本)×2ヶ ・防護服 100ヶ ・保護メガネ 100ヶ ・使い捨て手袋 500枚 ・消毒用エタノール噴霧器 10ヶ 【備品】 ・公共施設用エアコン 4台 ・カーテン 4式 ・レースカーテン 4式 ・FF式ストーブ 2台 【施設改修】 ・公共施設用トイレ手洗い修繕 1か所	町内公共施設等に感染防止のための各種消耗品・備品を整備することで、利用者・職員の感染防止対策が図られ、感染防止に大きく繋がった。 また、今後に必要な物品を備蓄できたことも、これからの感染拡大防止する上で効果的であったと考える。		I-1. マスク・消毒液等の確保	1,921,292	1,200,000			721,292
38	クリスマス・年越しも家族団らんクーポン事業	商工観光課	新型コロナウイルス感染症による影響により、本来であれば料飲店を中心に町内に賑わいのある時期に、自主的な外出自粛の流れにともなって団体による大人数での会食や懇談の場が少なくなることが懸念される。各世帯等の生活・消費に与える影響を緩和するとともに、飲食店等地域における消費を喚起・下支えするため行うもの。	町内対象飲食店において持ち帰り3,000円以上のテイクアウト商品購入時に購入代金から500円を、5,000円以上のテイクアウト商品購入時に購入代金から1,000円を差し引いて販売し、差し引いた金額を対象飲食店に助成する。 ※鹿追町観光協会へ補助	23事業者 1,489,500円 利用人数 延べ1,806名(500円×633人、1,000円×1,173人)	コロナ禍において外出自粛により来店飲食に制限があるものの、クリスマス、忘年会・新年会など年末年始に家族・親戚・知友人、職場・サークル等で集まる機会が多いことから、当該事業においてテイクアウト商品への購入支援により、各世帯等の生活・消費に与える影響を緩和し、また、飲食店等地域における消費を喚起・下支えすることができた。	●	Ⅲ-1. 観光・運輸業、飲食業、イベント・エンターテインメント事業等に対する支援	1,512,006	1,000,000			512,006
39	無線システム普及支援事業費等補助金	企画課	町内光回線未整備地区の解消を図るため、民設民営方式により光回線の整備を行うもの。	民間整備事業者が実施する光回線整備事業に対して負担金を支出するもの。 ※民間整備事業者へ負担金	光回線加入者数:333人	光回線未整備地区への対応により、デジタルデバйдへの対策や町民の暮らしの質の向上が図られた。特に、未整備地区は市街地から離れた農村部が大半であったため、スマート農業の推進や車移動の機会を減らすことでのCO2排出削減などにもつながっている。		IV-3. リモート化等によるデジタルトランスフォーメーションの加速	230,754,000	228,470,000			2,284,000
48	農村地区インターネット通信網整備												
40	公立学校情報機器整備費補助金	学校教育課	臨時休業等の緊急時に学校と児童生徒がやりとりを円滑に行うため、学校側が使用するカメラやマイクなどの通信機器の整備を行うもの	通信機器整備	・鹿追小学校 42,900円(会議用マイクスピーカー) ・瓜蓑小学校 11,550円(ワイヤレスマイク、ヘッドフォンジャック) ・鹿追中学校 38,500円(ポータブルスピーカーフォン)	良質なオンライン学習環境を整えることで、対面時と遜色のない授業環境を作ることができ、効果の高い整備となっている。		IV-3. リモート化等によるデジタルトランスフォーメーションの加速	92,950	32,000	40,000		20,950
41	学校保健特別対策事業費補助金	学校教育課	(感染症対策のためのマスク等購入支援事業) 布製マスク、清拭用消毒液、非接触型体温計等の保健衛生用品の購入	布製マスク、清拭用消毒液、非接触型体温計等の保健衛生用品の購入	感染用対策消耗品 小学校 109,273円 中学校 67,480円	感染拡大初期において、徹底した感染予防により、感染者を出すことなく学習活動を継続することができた。		I-1. マスク・消毒液等の確保	174,035	81,000	80,000		13,035
42	公立学校情報通信ネットワーク環境施設整備費補助金	学校教育課	GIGAスクール構想の実現に向けて、校舎内LANネットワークの整備等を行うもの	校舎内LANネットワーク整備設計施工委託、消耗品	校舎内LANネットワーク整備設計施工委託、消耗品 校内LAN 並川小学校、鹿追中学校、瓜蓑中学校 消耗品 鹿追小学校	オンライン授業の環境を整えることで、臨時休業時のさまざまな学習に対応することが可能となり、学びを止めない学習環境を構築できたことの効果は大きい。		IV-3. リモート化等によるデジタルトランスフォーメーションの加速	7,016,240	3,290,000	3,521,000		205,240
43	公立学校情報機器整備費補助金	学校教育課	(GIGAスクールサポーター配置支援事業) GIGAスクール構想の実現に向けて、ICT環境整備の設計、工事や物品対応、使用マニュアル(ルール)の作成、使用方法の周知等を行うGIGAスクールサポーターの配置を行うもの	GIGAスクールサポーターの配置を行うもの(小中学校ICT支援事業委託)	小中学校ICT支援事業(ネットワーク設計、端末設定及び調整) 小学校5校、中学校2校	町内のすべての学校における一斉の端末整備と、オンライン等による学習活動の開始には専門的知識と、創造的工夫が必要となり支援体制の構築は必須で、速やかな支援により学校がスムーズな運用を行うことができた。		IV-3. リモート化等によるデジタルトランスフォーメーションの加速	8,998,000	4,230,000	4,499,000		269,000
44	学校保健特別対策事業費補助金	学校教育課	(学校再開に伴う感染症対策・学習保障等に係る支援事業) 各学校が、段階的な学校再開に際して学校の感染症対策等を徹底しながら子どもたちの学習保障するために必要な整備及び備品・消耗品等の購入を行うもの	消耗品費、備品購入費、役務費1校2,000千円×7校(小学校5校、中学校2校)=14,000千円	教師用Appleタブレットipad 81台 5,074,245円 教師用キーボード 81台 293,920円 教師用Appleペンシル 81台 489,500円 その他感染症対策消耗品・備品 8,664,375円	児童や生徒の学習活動においては、教員が同様の環境下で授業を行うことが必須となる。GIGAスクール構想の実現と併せて、ICTを活かした教育を高いレベルで実現できたのは、ひとえにこの環境整備の効果が大きい。		I-1. マスク・消毒液等の確保	14,522,040	7,000,000	7,000,000		522,040
45	子ども・子育て支援交付金	子育て支援課	(放課後児童健全育成事業) 学校の臨時休校に伴い増加する学童保育所の開所経費	学校の臨時休校に伴い増加する放課後児童支援員の人員費	会計年度任用職員報酬 26日分 313,248円	放課後児童支援員の人員費に充てることが出来たことから、早朝から開所することが出来、児童が安心して保護者のいない時間を学童保育所で過ごすことが出来た。		I-8. 学校の臨時休業等を円滑に進めるための環境整備	313,248	100,000	190,000		23,248
46	飲食関連緊急支援金交付事業	商工観光課	鹿追町内の飲食関連企業が新型コロナウイルス感染症の拡大により、年末年始にかけて特に大きな影響を受け、経営の継続に不安を抱いていることから、事業の下支えし、再起の糧としていくため、中小企業者が事業全般に広く活用できるように支援金交付制度を創設するもの	令和2年10月1日から令和3年1月31日までのいずれか1か月間のうちの売上高等が、前年同期比で50%以上の減少率となるものに対して、一食関連企業あたり200千円を支援する。 ※鹿追町商工会へ委託	支給者数 23件	町内該当飲食店55社のうち、23社申請(41.8%) 宴会等の需要がなく売上げに大きな影響がでており、年末年始にかけての運転資金等への活用を見込み、概算私交付方式で実施することで、経営継続の一助にもなった有効な事業であった。	●	Ⅲ-1. 観光・運輸業、飲食業、イベント・エンターテインメント事業等に対する支援	4,800,000	4,200,000			600,000
									481,782,989	414,345,000	38,389,571	15,000,800	14,048,418